



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 日鉄ソリューションズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2327 URL <https://www.nssol.nipponsteel.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 宏之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小松 英樹 (TEL) 03-6899-6000
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	65,519	15.7	7,142	40.0	7,522	39.6	4,633	48.7
2021年3月期第1四半期	56,644	△17.4	5,102	△26.1	5,389	△24.7	3,116	△24.0

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 5,299百万円(△43.2%) 2021年3月期第1四半期 9,329百万円(20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年3月期第1四半期	円 銭 50.64	円 銭 —
2021年3月期第1四半期	34.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年3月期第1四半期	百万円 270,685	百万円 190,541	% 68.1
2021年3月期	272,223	186,128	66.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 184,361百万円 2021年3月期 179,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 —	円 銭 27.50	円 銭 52.50
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	127,500	7.1	11,800	5.8	12,000	5.7	7,600	△4.1	83.06
通期	265,000	5.2	25,500	3.9	26,000	3.6	17,100	0.7	186.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2022年3月期1Q	91,501,000株	2021年3月期	91,501,000株
2022年3月期1Q	798株	2021年3月期	716株
2022年3月期1Q	91,500,207株	2021年3月期1Q	91,500,411株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	9
(追加情報)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	10
(株主資本等関係)	11
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	11
(1株当たり情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。

企業収益は同感染症の影響により、一部業種では弱さが見られ、引き続き注視が必要な状況にはありますが、総じて見れば持ち直しており、顧客企業におけるシステム投資については回復傾向にありました。

当社グループは、2021-2025年度中期事業方針（2021年4月公表）に基づき、「デジタル製造業」「プラットフォーム支援」「デジタルワークプレースソリューション」「ITアウトソーシング」の4領域について事業成長を牽引する「注力領域」として定め、お客様のDX推進に伴うニーズを最大限に獲得し、事業拡大を目指してまいります。

デジタル製造業領域の取り組みにつきましては、2021年4月より全社のDXを推進する組織「DX&イノベーションセンター（DXIC）」内に、「デジタル製造業センター」を設置し、産業領域や鉄鋼領域での知見、IoXソリューション、エンタープライズ5G等、当社の技術・ノウハウを結集し、製造業のお客様のDX推進支援を進めてまいりました。

デジタルワークプレースソリューション領域の取り組みにつきましては、お客様の新たな働き方の実現に向けたコンサルティングサービスからITツールの導入まで一貫して提供することでお客様の生産性向上に貢献しております。今期は電子契約サービス「CONTRACTHUB」（コントラクトハブ）の商業・法人登記オンライン申請での利用開始等、拡販に向けた取り組みを推進してまいりました。

一方、サステナビリティ・ESGの観点では、ダイバーシティ&インクルージョン推進の取り組みの一環として、障がい者の働く場を積極的に創出することを目的とした子会社「株式会社Act.」を2021年4月に設立し特例子会社としての認定を受けました。当社は福利厚生の一部業務、オフィス業務の効率化等を担い、当社グループ社員の働きやすさ向上に貢献しています。このように、当社は豊かな社会づくりに向けてESGの観点で様々な事業活動に取り組んでおり、ESG投資のための株価指数である「FTSE4Good Index Series」及び「FTSE Blossom Japan Index」構成銘柄に3年連続で採用されました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、業務ソリューション、サービスソリューションともに堅調に推移し、65,519百万円と前年同期（56,644百万円）と比べ8,875百万円の増収となりました。経常利益は、増収の影響等により売上総利益が増益となり、販売費及び一般管理費の増加があったものの、7,522百万円と前年同期（5,389百万円）と比べ2,133百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①貸借対照表

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末272,223百万円から1,537百万円減少し、270,685百万円となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金の減少△24,393百万円、契約資産の増加15,336百万円、預け金の増加6,545百万円であります。なお、(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）に記載の通り、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形及び売掛金」と「契約資産」に区分して表示しております。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末86,094百万円から5,949百万円減少し、80,144百万円となりました。主な内訳は、前受金の減少△18,347百万円、賞与引当金の減少△4,744百万円、契約負債の増加18,329百万円であります。なお、(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）に記載の通り、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示しております。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末186,128百万円から4,412百万円増加し、190,541百万円となりました。主な内訳は、収益認識に関する会計基準等の適用に伴う利益剰余金期首調整1,834百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益4,633百万円、配当金の支払2,516百万円、その他有価証券評価差額金の増加443百万円であります。その結果、自己資本比率は68.1%となりました。

②資本の財源、資金の流動性に係る情報

(基本方針)

当社グループは将来にわたり競争力を維持強化し、企業価値を高めていくことが重要と考えております。

そのため、最新テクノロジーによるSI業務の生産性向上や、DXビジネスの推進、グローバルビジネスの拡大、エンゲージメントの高い組織づくり等による事業成長及び広域災害等の事業リスクに備えて内部留保を確保するとともに、利益配分につきましては株主の皆様に対する適正かつ安定的な配当等を行うことを基本としております。

配当につきましては、連結業績に応じた利益還元を重視し連結配当性向30%を目安といたします。

(資金需要及び資金調達の内容)

当社グループの主要な資金需要は、材料費、外注費、労務費、経費、販売費及び一般管理費等の営業費用並びに設備投資等であります。これらの資金需要につきましては自己資金により充当しております。

手許の運転資金につきましては、当社及び一部の国内子会社において当社のキャッシュマネジメントシステム(CMS)を導入することにより、各社における余剰資金を当社へ集中し、一元管理をしております。また、当社は、日本製鉄株のCMSを利用しており、当第1四半期連結会計期間末は80,076百万円を預け入れております。

突発的な資金需要に対しては、大手各行及び親会社である日本製鉄株に対し当座借越枠を確保することにより、流動性リスクに備えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想(2021年4月28日)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,255	5,773
預け金	73,530	80,076
受取手形及び売掛金	61,074	36,680
契約資産	—	15,336
有価証券	1,000	2,000
仕掛品	28,344	24,148
原材料及び貯蔵品	42	37
その他	2,612	2,923
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	171,834	166,954
固定資産		
有形固定資産	19,572	22,027
無形固定資産		
のれん	2,923	2,807
その他	2,116	2,269
無形固定資産合計	5,040	5,076
投資その他の資産		
投資有価証券	65,036	65,916
その他	10,788	10,759
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	75,776	76,626
固定資産合計	100,388	103,731
資産合計	272,223	270,685
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,884	13,392
未払法人税等	3,753	2,752
前受金	18,347	—
契約負債	—	18,329
賞与引当金	9,553	4,808
その他の引当金	2,549	1,280
その他	10,605	11,044
流動負債合計	60,694	51,607
固定負債		
役員退職慰労引当金	149	82
退職給付に係る負債	10,956	11,146
資産除去債務	63	2,909
その他の引当金	173	162
その他	14,057	14,235
固定負債合計	25,400	28,536
負債合計	86,094	80,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,952	12,952
資本剰余金	9,950	9,950
利益剰余金	118,600	122,552
自己株式	△2	△2
株主資本合計	141,501	145,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,310	38,754
為替換算調整勘定	15	153
その他の包括利益累計額合計	38,325	38,908
非支配株主持分	6,301	6,179
純資産合計	186,128	190,541
負債純資産合計	272,223	270,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	56,644	65,519
売上原価	※1 44,404	※1 50,684
売上総利益	12,239	14,834
販売費及び一般管理費	※1 7,136	※1 7,692
営業利益	5,102	7,142
営業外収益		
受取利息	46	52
受取配当金	204	164
為替差益	13	—
投資事業組合運用益	34	110
その他	76	129
営業外収益合計	375	457
営業外費用		
支払利息	2	1
持分法による投資損失	4	7
固定資産除却損	5	0
為替差損	—	46
特別調査費用等	71	—
その他	4	19
営業外費用合計	88	76
経常利益	5,389	7,522
特別利益		
投資有価証券売却益	822	—
特別利益合計	822	—
特別損失		
オフィス整備費用	910	—
特別損失合計	910	—
税金等調整前四半期純利益	5,301	7,522
法人税等	2,095	2,810
四半期純利益	3,205	4,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,116	4,633

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	3,205	4,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,273	443
為替換算調整勘定	△149	144
その他の包括利益合計	6,123	588
四半期包括利益	9,329	5,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,244	5,216
非支配株主に係る四半期包括利益	85	83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
連結の範囲の重要な変更
当第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社Act.を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
「収益認識に関する会計基準」等
<p>「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、権利を得ると見込む対価の額で収益を認識することとしております。これにより、受注制作のソフトウェアに関して、従来、進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の契約については工事完成基準を適用しておりましたが、財又はサービスに対する支配が一定の期間にわたり顧客に移転する場合には、履行義務を充足するにつれて財又はサービスの対価の額を、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した原価が、予想される原価見通しの合計に占める割合に基づいて行っております。</p> <p>収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,508百万円増加、売上原価は2,099百万円増加、営業利益は409百万円増加、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ406百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は1,834百万円増加しております。</p> <p>収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形及び売掛金」と「契約資産」に区分して表示しております。また、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示しております。</p> <p>なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。</p>
「時価の算定に関する会計基準」等
<p>「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。</p>

(会計上の見積りの変更)

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
<p>資産除去債務の見積額の変更</p> <p>当社グループにおける本社地区の新川と虎ノ門の2拠点体制化を始めとした、オフィスの再編成及びオフィス環境の整備が完了したこと、並びにテレワークの積極活用によるオフィス環境の変化を背景として、当社グループにおけるオフィスの利用期間について従来の見積り前提を見直しております。</p> <p>このことから、当第1四半期連結会計期間において不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務に対応する資産除去債務について、退去時に必要とされる原状回復費用及びその使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。</p> <p>この見積りの変更により、資産除去債務残高が2,846百万円増加し、従来の方法に比べて当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益は74百万円減少しております。</p>

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
<p>税金費用の計算</p> <p>当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。</p>

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
<p>実在性を確認できない取引に関する事項</p> <p>当社は2019年11月中旬、国税当局による税務調査の過程で、当社の一部の物販仕入販売型取引に関し、その実在性に疑義が生じたことから特別調査委員会を設置し調査をいたしました。その結果、実在性を確認できない取引が明らかとなったため、当該取引を取り消し、入金額及び出金額を仮受金46,404百万円及び仮払金44,753百万円として計上するとともに、その純額1,650百万円をその他固定負債に含めて表示しております。</p> <p>なお、四半期連結決算日後の2021年7月27日付で、上記仮払金の対象となった取引のうちの一部の取引先から1,275百万円の返還を受けております。</p> <p>また、上記の他、受発注済みの未処理案件があり、当該案件に関連して2020年3月31日に訴訟を提起されております。詳細は四半期連結貸借対照表注記偶発債務をご参照ください。</p> <p>これらの今後の状況によっては当社の財政状態や経営成績に影響を与える可能性があります。</p>

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
偶発債務
<p>当社は、みずほ東芝リース株式会社より、2020年3月31日付（当社への訴状送達日は、2020年6月24日）で、東京地方裁判所にて、違約金請求訴訟の提起を受けました。なお、同訴訟については、2021年1月18日付で、予備的請求として、売買契約に基づく代金支払請求を追加する旨の訴えの変更がなされております。</p> <p>同訴訟は、同社が、2019年8月、当社との間で、当社が同社よりサーバ及びその周辺機器等を購入する旨の売買契約（以下「本売買契約」）を締結したところ、同年11月に当社が本売買契約を解約した旨主張して、当社に対し、当該売買代金と同額の違約金を請求するとともに、予備的に、本売買契約に基づき当該売買代金を請求するものであり、請求額は10,926百万円及びこれに対する遅延損害金です。当社としましては、当該請求の棄却を求めるなど、適切に対応して参ります。</p> <p>当事実が今後の当社グループの財政状態や経営成績に影響を及ぼす可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であるため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。</p>

(四半期連結損益計算書関係)

※1 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
	503百万円	407百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
減価償却費	1,564百万円	1,234百万円
のれん償却額	116百万円	116百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月15日 取締役会	普通株式	2,973	32.50	2020年 3月31日	2020年 6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年5月13日 取締役会	普通株式	2,516	27.50	2021年 3月31日	2021年 5月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び当社グループは情報サービス単一事業のため、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

売上収益は顧客に提供するサービスの種類により、「業務ソリューション事業」「サービスソリューション事業」に分解しております。売上収益はすべて顧客との契約から生じたものであり、売上収益分解は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
業務ソリューション事業	43,244
サービスソリューション事業	22,275
合計	65,519

(注) グループ会社間の内部取引控除後の金額を表示しております。

業務ソリューション事業

「業務ソリューション事業」においては、業種・業務に関する豊富な知識と経験を基に、顧客ニーズに応えるシステムライフサイクルトータルでのソリューションを提供しております。

サービスソリューション事業

「サービスソリューション事業」においては、ミッションクリティカルな要求に応えるプラットフォーム構築技術と高度な運用ノウハウを組み合わせたITインフラソリューション及びアウトソーシングサービスを提供しております。また、日本製鉄㈱向けには、複雑な鉄鋼製造プロセスをノンストップで支える生産管理システム等の運用管理を全面的に行うとともに、各種情報システムの企画・開発を含めたフルアウトソーシングサービスを提供しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	34円06銭	50円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	3,116	4,633
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	3,116	4,633
普通株式の期中平均株式数(株)	91,500,411	91,500,207

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。



NS Solutions

 **NIPPON STEEL**

2022年3月期第1四半期 (2021年4月1日～2021年6月30日) 業績概況

2021年7月30日

日鉄ソリューションズ株式会社

I -1. 連結決算業績

単位：億円

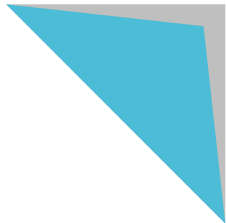
	2021/3期 第1四半期	2022/3期 第1四半期	対前年差異	増減率(YoY)
売上高	566	655	+89	16%
業務ソリューション	349	432	+83	24%
サービスソリューション	217	223	+6	3%
売上総利益	122	148	+26	21%
売上高総利益率	<21.6%>	<22.6%>	<+1.0%>	
販管費	71	77	+6	8%
営業利益	51	71	+20	40%
経常利益	54	75	+21	40%
親会社株主に 帰属する当期純利益	31	46	+15	49%

I -2. サービス・顧客業種別売上高

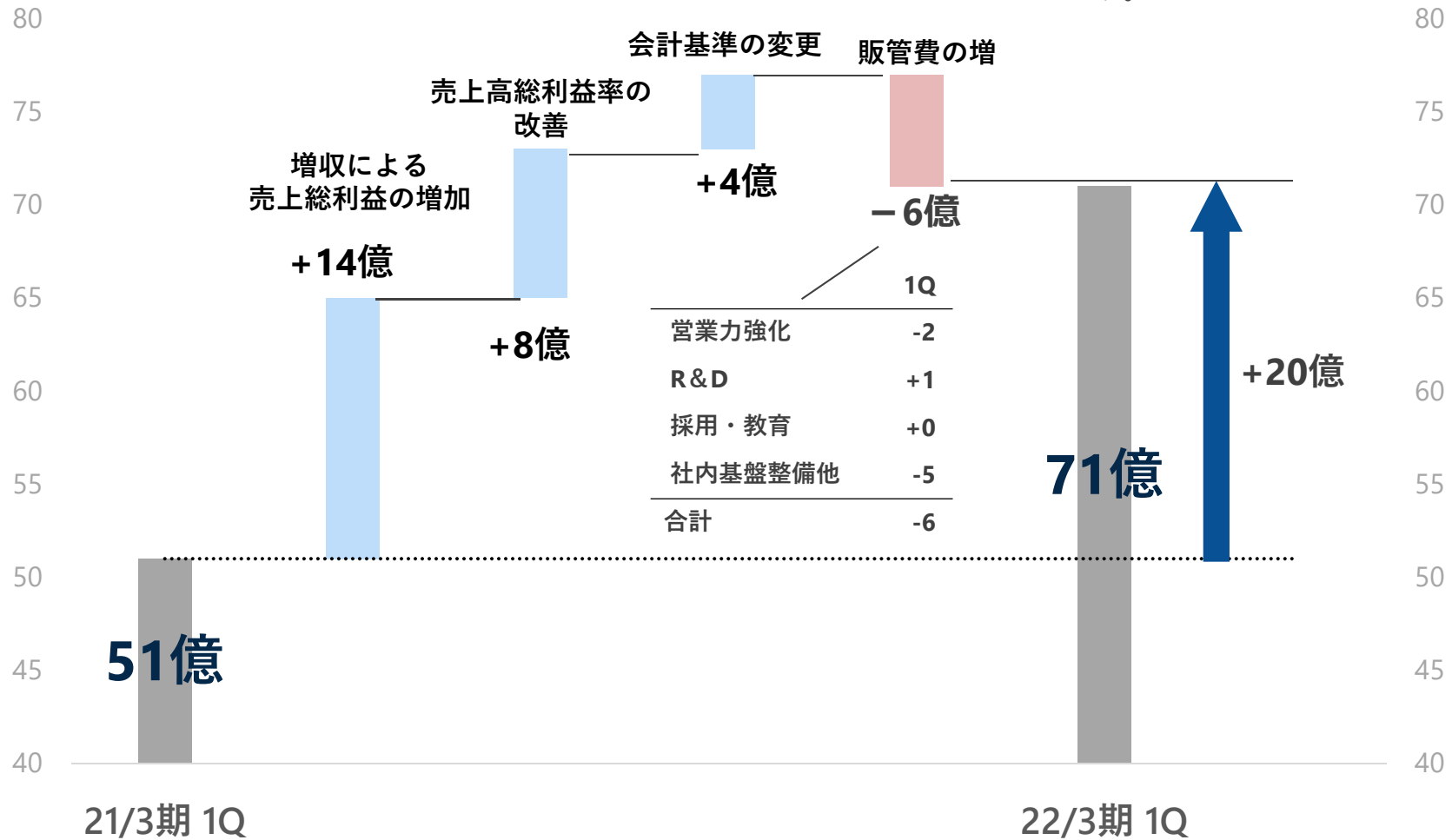
単位：億円

	2021/3期		2022/3期		対前年差異		コメント
	第1 四半期	ウチ ITインフラ	第1 四半期	ウチ ITインフラ	第1 四半期	ウチ ITインフラ	
業務ソリューション	289	93	369	124	+81	+30	
産業・流通・サービス	168	63	183	59	+14	-5	運輸、プラットフォームが堅調
金融	59	19	104	41	+45	+22	規制対応、プロダクトの増
公共公益他	61	10	82	24	+21	+14	官公庁向け基盤構築案件、テレコムが増
サービスソリューション	207		214		+7		
ITインフラ	82	<93>	77	<124>	-5	<+30>	
鉄鋼	125		137		+12		日本製鉄向けの増、グループ会社の増
子会社等	71		72		+1		
合計	566		655		+89		
(参考) 日本製鉄向け	(127)		(137)		(+10)		
受注高	494		587		+92		

I -3. 2022年3月期 第1四半期 連結営業利益分析



増減表記について
 +は増益、-は減益（コスト増）
 としております。



Ⅱ -1. 上期連結業績見通し | 四半期別

単位：億円

	2021/3期			2022/3期			対前年		
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 実績	2Q 差分	上期 見通し	1Q 差異	2Q 差異	上期 差異
売上高	566	624	1,191	655	620	1,275	+89	-4	+84
業務ソリューション	349	391	740	432	378	810	+83	-13	+70
サービスソリューション	217	233	451	223	242	465	+6	+9	+14
売上総利益	122	128	250	148	120	268	+26	-8	+18
売上高総利益率	<21.6%>	<20.5%>	<21.0%>	<22.6%>	<19.3%>	<21.0%>	<+1.0%>	<-1.2%>	<+0.0%>
販管費	71	67	139	77	73	150	+6	+6	+11
営業利益	51	60	111	71	47	118	+20	-14	+7
経常利益	54	60	114	75	45	120	+21	-15	+6
親会社株主に帰属する 当期純利益	31	48	79	46	30	76	+15	-18	-3
期首受注残	1,269	1,197	-	1,226	1,157	-	-43	-39	-

Ⅱ -2. サービス・顧客業種別売上高見通し

単位：億円

	2021/3期			2022/3期			対前年		
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	1Q 実績	2Q 差分	上期 見通し	1Q 差異	2Q 差異	上期 差異
業務ソリューション	289	314	603	369	301	670	+81	-13	+67
産業・流通・サービス	168	175	343	183	177	360	+14	+3	+17
金融	59	80	139	104	56	160	+45	-24	+21
公共公益他	61	60	121	82	68	150	+21	+8	+29
サービスソリューション	207	225	432	214	231	445	+7	+6	+13
ITインフラ	82	85	167	77	93	170	-5	+8	+3
鉄鋼	125	140	265	137	138	275	+12	-2	+10
子会社等	71	85	156	72	88	160	+1	+3	+4
合計	566	624	1,191	655	620	1,275	+89	-4	+84
参考) 日本製鉄向け	(127)	(137)	(264)	(137)	(133)	(270)	(+10)	(-3)	(+6)

Ⅱ -3. 2022年3月期 連結業績 上下別

単位：億円

	2021/3期			2022/3期			対前年		
	上期実績	下期実績	年度実績	上期見通し	下期見通し	年度見通し	上期差異	下期差異	年度差異
売上高	1,191	1,329	2,520	1,275	1,375	2,650	+84	+46	+130
業務ソリューション	740	883	1,623	810	895	1,705	+70	+12	+82
サービスソリューション	451	447	897	465	480	945	+14	+33	+48
売上総利益	250	269	520	268	287	555	+18	+18	+35
売上高総利益率	<21.0%>	<20.3%>	<20.6%>	<21.0%>	<20.9%>	<20.9%>	<+0.0%>	<+0.6%>	<+0.3%>
販管費	139	135	274	150	150	300	+11	+15	+26
営業利益	111	134	245	118	137	255	+7	+3	+10
経常利益	114	137	251	120	140	260	+6	+3	+9
親会社株主に帰属する 当期純利益	79	91	170	76	95	171	-3	+4	+1
参考) 日本製鉄向け	264	263	526	270	255	525	+6	-8	-1

(ご参考)

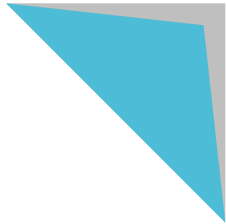
- ◆ 収益認識基準の適用について
「収益認識に関する会計基準（企業会計基準第29号2020年3月31日）」の適用義務化に伴い、工事進行基準の適用範囲を拡大しました。

- ◆ 適用影響

単位：億円

		第1四半期			第2四半期
		期首 受注残	受注	売上	期首 受注残
2021/3期	A	1,269	494	566	1,197
2022/3期	B	1,226	587	655	1,157
(対前年)	C (B-A)	-43	+92	+89	-39
適用影響	D	-121	0	+25	-146
(影響除き 対前年)	E (C-D)	+78	+92	+64	+106

主要ニュース・プレスリリース



2021年4月2日	【ITR調べ】国内DaaS市場で仮想デスクトップサービス「M ³ DaaS」が8年連続シェア1位を獲得 ～ニューノーマルを支えるデジタルワークスペースソリューションを強化～
2021年4月5日	プラント建設のDX実現を目指す日揮グローバルに向け5Gを見据えた自営無線網の試験運用を支援
2021年4月8日	新川オフィスにて、自営等BWAの実験試験局免許を取得 (5G)
2021年4月12日	DataRobot AIアカデミーにてBest Project Award受賞
2021年4月19日	MaaS事業者のシステム開発を支援する、「MONETマーケットプレイス」のパートナーベンダーに認定
2021年4月20日	ミッションクリティカルシステムに最適なマネージド・クラウドサービス「absonne (アブソンヌ)」の新サービスを2021年5月14日提供開始
2021年4月27日	日本製鉄本社地区に電子契約サービス「CONTRACTHUB」を全面展開
2021年5月12日	当社子会社「Act.」が障がい者雇用促進の特例子会社として厚生労働大臣の認定を取得
2021年5月31日	NSSOLと日本IBM、協業により5G・エッジソリューションを推進
2021年6月28日	デジタル・トランスフォーメーションのための基盤強化を推進



<https://www.nssol.nipponsteel.com/>

NS Solutions、NSSOL、NSロゴは、日鉄ソリューションズ株式会社の商標又は登録商標です。
その他、資料中に記載の会社名・製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。



NS Solutions

2022年3月期 第1四半期決算 参考資料

Appendix of Financial Results for the Quarterly Period ended June 30, 2021

2021年7月30日

July 30, 2021

日鉄ソリューションズ株式会社

NS Solutions Corporation

本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。従って、この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。

財務諸表の開示について

当社連結財務諸表及び、個別財務諸表につきましては、日本の金融商品取引法及びそれに関連する会計規則、日本基準における一般会計原則に従って作成されております。そのため国際財務報告基準とは開示方法が異なる部分がありますのでご注意ください。

この資料では百万円単位で切捨て表示をしております。

This document includes statements of forward-looking descriptions regarding the intent, belief or current expectations of NS Solutions Corporation (the “Company”) or its officers in terms of its operation and financial condition. Accordingly, such statements contain risks and uncertainties since they are neither historical facts nor guarantees of future performance. Actual results may be varied and influenced by various factors. The Company does not undertake to revise such forward-looking descriptions to reflect those factors.

Basis of Presenting Financial Statements

The accompanying financial statements of the Company and its consolidated subsidiaries have been prepared in accordance with the provisions set forth in the Financial Instruments and Exchange Law and its related accounting regulations, and in conformity with accounting principles generally accepted in Japan (“Japanese GAAP”), which are different in certain respects as to application and disclosure requirements from International Financial Reporting Standards.

In this material, figures have been rounded down to the nearest millions of yen.

1.連結四半期業績概要 Outline of Quarterly Consolidated Business Results

(単位:百万円(他に指定ない限り) Millions of Yen, except as otherwise noted)

	2021/3					2022/3					対前年同期差異				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Q1	Q2	Q3	Q4	Total	Q1	Q2	Q3	Q4	Total
受注高 Amount of order acceptance	49,426	66,872	59,386	84,092	259,777	58,668				58,668	+9,242				
業務ソリューション Business solutions	32,453	42,437	43,653	52,721	171,266	41,482				41,482	+9,028				
サービスソリューション Service solutions	16,972	24,434	15,732	31,371	88,510	17,185				17,185	+213				
期末受注残高 Order backlog at end of period	119,662	124,109	122,583	134,664	134,664	115,723				115,723	-3,938				
業務ソリューション Business solutions	71,759	75,097	77,840	83,218	83,218	79,845				79,845	+8,086				
サービスソリューション Service solutions	47,902	49,012	44,742	51,446	51,446	35,877				35,877	-12,024				
売上高 Net sales	56,644	62,424	60,912	72,010	251,992	65,519				65,519	+8,875				
業務ソリューション Business solutions	34,918	39,099	40,910	47,344	162,273	43,244				43,244	+8,325				
サービスソリューション Service solutions	21,725	23,324	20,002	24,666	89,719	22,275				22,275	+550				
売上総利益 Gross profit	12,239	12,784	12,606	14,320	51,950	14,834				14,834	+2,595				
販売費及び一般管理費 Selling, general and administrative expenses	7,136	6,737	6,557	6,968	27,400	7,692				7,692	+556				
営業利益 Operating profit	5,102	6,046	6,049	7,351	24,549	7,142				7,142	+2,039				
経常利益 Ordinary profit	5,389	5,968	6,287	7,456	25,101	7,522				7,522	+2,133				
親会社株主に帰属する当期純利益 Profit attributable to owners of parent	3,116	4,804	4,083	4,977	16,982	4,633				4,633	+1,516				
包括利益 Comprehensive income	9,329	8,144	5,454	13,333	36,261	5,299				5,299	-4,029				
売上高総利益率(%) Gross profit margin (%)	21.6%	20.5%	20.7%	19.9%	20.6%	22.6%				22.6%	+1.0%				
営業利益率(%) Operating profit margin (%)	9.0%	9.7%	9.9%	10.2%	9.7%	10.9%				10.9%	+1.9%				
日本製鉄(株)向け売上高 Sales to Nippon Steel Corp.	12,700	13,681	11,693	14,559	52,634	13,653				13,653	+952				

※当社は、2022年3月期第1四半期決算より、収益認識に関する会計基準等を適用しております。(以下頁同様)

Accounting Standard for Revenue Recognition, etc. under Japanese GAAP have been applied from the beginning of the first quarter ended June 30, 2021. (The same applies to the following pages.)

2.連結業績概要 Outline of Consolidated Business Results

(単位:百万円(他に指定ない限り) Millions of Yen, except as otherwise noted)

	2020/3	2021/3	2022/3	2019/9	2020/9	2021/9
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
受注高						
Amount of order acceptance	268,298	259,777	—	136,043	116,298	—
業務ソリューション						
Business solutions	176,646	171,266	—	89,815	74,891	—
サービスソリューション						
Service solutions	91,651	88,510	—	46,228	41,407	—
期末受注残高						
Order backlog at end of period	126,880	134,664	—	132,708	124,109	—
業務ソリューション						
Business solutions	74,225	83,218	—	77,687	75,097	—
サービスソリューション						
Service solutions	52,655	51,446	—	55,021	49,012	—
売上高						
Net sales	274,843	251,992	265,000	136,759	119,068	127,500
業務ソリューション						
Business solutions	180,071	162,273	170,500	89,777	74,018	81,000
サービスソリューション						
Service solutions	94,772	89,719	94,500	46,982	45,050	46,500
売上総利益						
Gross profit	56,598	51,950	55,500	28,499	25,023	26,800
販売費及び一般管理費						
Selling, general and administrative expenses	28,210	27,400	30,000	14,309	13,873	15,000
営業利益						
Operating profit	28,387	24,549	25,500	14,190	11,149	11,800
経常利益						
Ordinary profit	28,275	25,101	26,000	14,196	11,357	12,000
親会社株主に帰属する当期純利益						
Profit attributable to owners of parent	18,552	16,982	17,100	8,727	7,921	7,600
包括利益						
Comprehensive income	15,214	36,261	—	10,059	17,474	—
売上高総利益率(%)						
Gross profit margin (%)	20.6%	20.6%	20.9%	20.8%	21.0%	21.0%
営業利益率(%)						
Operating profit margin (%)	10.3%	9.7%	9.6%	10.4%	9.4%	9.3%
日本製鉄(株)向け売上高						
Sales to Nippon Steel Corp.	55,983	52,634	52,500	27,287	26,382	27,000

3.指標 Management index

(単位:百万円(他に指定ない限り) Millions of Yen, except as otherwise noted)

	2020/3	2021/3	2022/3
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
自己資本比率(%) Equity ratio (%)	62.2%	66.1%	—
総資産経常利益率(%) Return(Ordinary profit) on Asset (%)	11.9%	9.8%	—
自己資本当期純利益率(%) Return(Net income) on Equity (%)	12.8%	10.3%	—

4.要約連結キャッシュ・フロー計算書 Condensed Consolidated Statements of Cash Flows

	2020/3	2021/3	2022/3
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
営業活動によるキャッシュ・フロー Cash flows from operating activities	19,366	17,544	—
投資活動によるキャッシュ・フロー Cash flows from investing activities	△ 2,975	10,414	—
財務活動によるキャッシュ・フロー Cash flows from financing activities	△ 6,796	△ 7,395	—

5.売上原価の内訳 Breakdown of cost of sales

	2020/3	2021/3	2022/3
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
労務費 Labor cost	50,156	52,514	—
材料費 Material cost	61,044	49,823	—
外注費 Subcontract expenses	78,115	78,047	—
その他 Other	28,929	19,656	—

6.研究開発費 R&D expenses

	2020/3	2021/3	2022/3
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
研究開発費 R&D expenses	1,996	1,694	—

7.設備投資・減価償却費 Capital expenditure・Depreciation

	2020/3	2021/3	2022/3
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
設備投資 ※ Capital expenditure	7,817	3,764	7,000
減価償却費 ※ Depreciation	5,205	6,145	5,200

8.期末従業員数 Number of employees at end of period

	2020/3	2021/3	2022/3
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
期末従業員数(人) Number of employees at end of period (jobs)	6,639	6,958	—

※ 設備投資及び減価償却費に、リース資産の新規購入及び減価償却費を含めております。

The amount of newly leased assets and that of their depreciation have been included in above items "Capital expenditure" and "Depreciation".

《参考》上期財務情報 Ref. First Half Financial Information

1.要約連結キャッシュ・フロー計算書 Condensed Consolidated Statements of Cash Flows

(単位:百万円(他に指定ない限り) Millions of Yen, except as otherwise noted)

	2019/9	2020/9	2021/9
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
営業活動によるキャッシュ・フロー Cash flows from operating activities	22,237	9,413	—
投資活動によるキャッシュ・フロー Cash flows from investing activities	△ 1,233	12,080	—
財務活動によるキャッシュ・フロー Cash flows from financing activities	△ 3,274	△ 4,169	—

2.売上原価の内訳 Breakdown of cost of sales

	2019/9	2020/9	2021/9
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
労務費 Labor cost	24,651	25,739	—
材料費 Material cost	37,002	25,411	—
外注費 Subcontract expenses	37,609	37,463	—
その他 Other	8,996	5,432	—

3.研究開発費 R&D expenses

	2019/9	2020/9	2021/9
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
研究開発費 R&D expenses	892	923	—

4.設備投資・減価償却費 Capital expenditure・Depreciation

	2019/9	2020/9	2021/9
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
設備投資 ※ Capital expenditure	2,044	2,076	5,000
減価償却費 ※ Depreciation	2,519	3,100	2,300

5.期末従業員数 Number of employees at end of period

	2019/9	2020/9	2021/9
	実績 Actual	実績 Actual	見通し Outlook
期末従業員数(人) Number of employees at end of period (jobs)	6,659	7,035	—

※ 設備投資及び減価償却費に、リース資産の新規購入及び減価償却費を含めております。

The amount of newly leased assets and that of their depreciation have been included in above items "Capital expenditure" and "Depreciation".

《参考》サービス・顧客業種別売上高 Ref.Sales by Segment / Customer Industry

1.サービス・顧客業種別売上高(四半期) Sales by Segment / Customer Industry (Quarterly)

(単位:百万円(他に指定ない限り) Millions of Yen, except as otherwise noted)

	2021/3 実績 Actual(A)				2022/3 実績 Actual(B)				対前年同期差異 (B)-(A)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
業務ソリューション Business Solutions	28,869	31,382	34,075	37,900	36,922					+8,053			
産業・流通・サービス Manufacturing, Retail and Service	16,839	17,452	17,094	18,073	18,265					+1,426			
金融 Financial Services	5,918	7,972	8,443	9,829	10,413					+4,494			
公共公益他 Government, Public organizations and Others	6,110	5,956	8,537	9,997	8,242					+2,132			
サービスソリューション Service Solutions	20,683	22,513	18,902	23,034	21,377					+693			
ITインフラ IT Platform	8,228	8,470	7,235	8,747	7,702					-525			
鉄鋼 Nippon Steel Group	12,455	14,042	11,666	14,287	13,674					+1,219			
子会社等 Subsidiaries	7,091	8,528	7,934	11,075	7,220					+129			
合計 Total	56,644	62,424	60,912	72,010	65,519					+8,875			

2.ITインフラ事業規模(四半期) Sales of IT Platform (Quarterly)

	2021/3 実績 Actual(A)				2022/3 実績 Actual(B)				対前年同期差異 (B)-(A)				
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	
業務ソリューション Business Solutions	9,322	7,070	8,264	7,849	12,350					+3,028			
産業・流通・サービス Manufacturing, Retail and Service	6,349	4,748	5,085	4,824	5,855					-494			
金融 Financial Services	1,939	1,721	2,379	2,098	4,103					+2,164			
公共公益他 Government, Public organizations and Others	1,033	600	799	926	2,390					+1,357			
サービスソリューション (ITインフラ) Service Solutions (IT Platform)	8,228	8,470	7,235	8,747	7,702					-525			
合計 Total	17,550	15,541	15,500	16,596	20,052					+2,502			

《参考》サービス・顧客業種別売上高 Ref.Sales by Segment / Customer Industry

3.サービス・顧客業種別売上高(上下別) Sales by Segment / Customer Industry (Half Year)

(単位:百万円(他に指定ない限り) Millions of Yen, except as otherwise noted)

	2021/3(A)		2022/3(B)		(B)-(A)	
	上期実績 1H Actual	下期実績 2H Actual	上期見通し 1H Outlook	下期見通し 2H Outlook	対前年差異 上期 1H	対前年差異 下期 2H
業務ソリューション Business Solutions	60,251	71,976	67,000	73,000	+6,748	+1,023
産業・流通・サービス Manufacturing, Retail and Service	34,292	35,167	36,000	35,500	+1,707	+332
金融 Financial Services	13,891	18,273	16,000	16,000	+2,108	-2,273
公共公益他 Government, Public organizations and Others	12,067	18,535	15,000	21,500	+2,932	+2,964
サービスソリューション Service Solutions	43,197	41,937	44,500	45,500	+1,302	+3,562
ITインフラ IT Platform	16,699	15,982	17,000	18,500	+300	+2,517
鉄鋼 Nippon Steel Group	26,498	25,954	27,500	27,000	+1,001	+1,045
子会社等 Subsidiaries	15,619	19,009	16,000	19,000	+380	-9
合計 Total	119,068	132,923	127,500	137,500	+8,431	+4,576

4.ITインフラ事業規模(上下別) Sales of IT Platform (Half Year)

	2021/3(A)		2022/3(B)		(B)-(A)	
	上期実績 1H Actual	下期実績 2H Actual	上期見通し 1H Outlook	下期見通し 2H Outlook	対前年差異 上期 1H	対前年差異 下期 2H
業務ソリューション Business Solutions	16,392	16,113	18,500	16,500	+2,107	+386
産業・流通・サービス Manufacturing, Retail and Service	11,098	9,910	11,500	10,000	+401	+89
金融 Financial Services	3,660	4,477	3,500	4,500	-160	+22
公共公益他 Government, Public organizations and Others	1,633	1,725	3,500	2,000	+1,866	+274
サービスソリューション (ITインフラ) Service Solutions (IT Platform)	16,699	15,982	17,000	18,500	+300	+2,517
合計 Total	33,092	32,096	35,500	35,000	+2,407	+2,903

《参考》サービス・顧客業種別売上高 Ref.Sales by Segment / Customer Industry

5.サービス・顧客業種別売上高(年度) Sales by Segment / Customer Industry (Full Year)

(単位:百万円(他に指定ない限り) Millions of Yen, except as otherwise noted)

2020/3	2021/3	2022/3	
実績 Actual	実績 Actual(A)	見通し Outlook(B)	差異 (B)-(A)
業務ソリューション Business Solutions	148,590	140,000	+7,772
産業・流通・サービス Manufacturing, Retail and Service	76,903	71,500	+2,040
金融 Financial Services	30,892	32,000	-164
公共公益他 Government, Public organizations and Others	40,794	36,500	+5,897
サービスソリューション Service Solutions	89,832	90,000	+4,864
ITインフラ IT Platform	34,049	35,500	+2,817
鉄鋼 Nippon Steel Group	55,782	54,500	+2,047
子会社等 Subsidiaries	36,419	35,000	+370
合計 Total	274,843	265,000	+13,007

6.ITインフラ事業規模(年度) Sales of IT Platform (Full Year)

2020/3	2021/3	2022/3	
実績 Actual	実績 Actual(A)	見通し Outlook(B)	差異 (B)-(A)
業務ソリューション Business Solutions	43,807	35,000	+2,493
産業・流通・サービス Manufacturing, Retail and Service	28,082	21,500	+490
金融 Financial Services	10,088	8,000	-137
公共公益他 Government, Public organizations and Others	5,636	5,500	+2,140
サービスソリューション (ITインフラ) Service Solutions (IT Platform)	34,049	35,500	+2,817
合計 Total	77,857	70,500	+5,310